

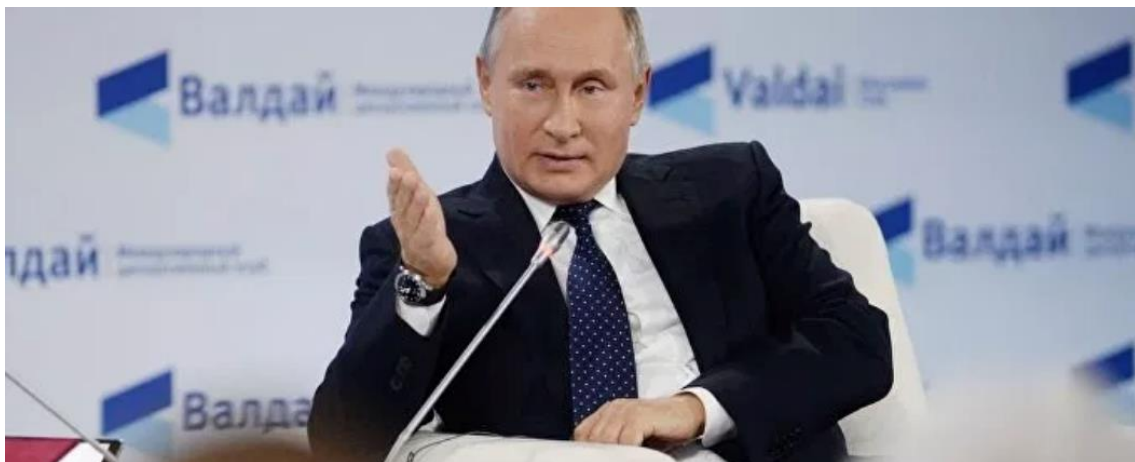
プーチンがヴァルダイ討論で法を定める

【訳者注】プーチン語録として、これは最新の、しかも最も長いものである。「法を定める」lay down the law とは、「自信をもって敵に命令する」ということである。この中で圧巻は、やはり、もしどうしても大戦争が起こらねばならず、全員が死ななければならないとしたら、「我々は殉教者として死に」、我々を滅ぼそうとした者は、無意味に「犬のように死ぬ」と言っているところである。論者は、こういうことを言う者ほど、柔和で、かつ強く恐ろしい者はいないと言っている。プーチンという人は、ロシアという国家、人民、文化（つまり魂）のために、いつでも死ぬ用意をしている政治家だと言ってよいだろう。私はひそかに彼を、トルストイの『戦争と平和』に出てくるクツーツフ将軍に重ねている。この将軍は黙っているが、いつでも腹の底でロシアを愛し、ロシアのことを考えている、と作者は説明している。（現実のクツーツフはそうでもなかったらしく、プーチンはよく喋るが。）

プーチンはまた、アメリカの事情も、日本の事情も完全に理解している。だから、自分を敬愛しているトランプが、突然「ロシアは敵だ」と言い出しても、驚かないはずである。彼は日本のプライドや、米とのしがらみをよく理解しているが、北方領土の返還より先に、日露平和条約があるべきだと考えているようである。その理由をよく考えるべきであろう。

Tom Luongo, Millenium Report (SOTN)

October 20, 2018



毎年、ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、ヴァルダイ経済フォーラムで話をする。そ

して常に彼の話は重要である。プーチンは重要な問題をごまかして話すような人ではない。

ロシアと西側の緊張が冷戦時代のレベルに達した今、ヴァルダイ討論において、プーチンの長い討論を我々が聞くのは、ヘルシンキ会議やその後の出来事——イリューシン 20 撃墜やカシヨギ事件など——のあった後で、初めてであった。

そこでこの講演は、あらゆる人が聞くに値する。あらゆる人と私がいうのは、アメリカの政治システムが崩壊し、その影響がロシアにまで押し寄せてくることを懸念する、すべての人という意味である。

言い換えると、この地球上のほぼ全員と行ってよい。

なぜなら、プーチンは、ヴァルダイ講演で、新しい地政学的な行動のルールを定めようとしていたからである。彼は、私が「ダボス会議の人々」と呼ぶ、アメリカやヨーロッパの寡頭政治家たちに通告した。

あなた方の挑発と、ロシアを覆そうとする試みには限度がある。だから、そこを踏み越えないように願いたい。

力による平和

彼の話の中の重要な個所は、当然のことだが、誰でも関心のある、核兵器の使用についてのロシアの政策である。

プーチンのスタンスが昔と変わったということではない。ロシアは、どんな状況下でも、ロシアの未来が危機に瀕したとき、侵略者に対して反撃するだろう。その場合、彼の信念は、もし死んでも、1) それは正義の死、「殉教者のように死ぬこと」であり、2) 侵略者にとっては、それは迅速かつ残忍な、救いの機会も奪われた、「犬のように死ぬ」ことである。

<https://youtu.be/Cjv3Z6EtGaA>

これらは強力な言葉である。しかし、それは柔和な人間の言葉だ。そしてこの言葉は、Jordan Peterson が言ったように、武器を持った者、その使い方を知っていて、他に選択がなくなるときまで鞘に納めておく者が、自己を言い表す言葉である。

聴衆からの反応（上のビデオを見よ）は、神経質な笑いであった。しかし、プーチンは、これ以外に言い方がなかったのだと思う。

彼は真剣だった。これは「柔和」 meek という言葉の定義そのものである。

これは実は、国務長官ジェームズ・マティスの態度も同じである。彼はこう言った、「私は平和のうちにやってきた。私は兵器はもってこなかった。しかし私は目に涙をためて嘆願する。もし、あなたが私に卑劣なことをしたら、私はあなた方すべてを殺す。」

このような人間は、あまり激しく追い詰めるべきではない。プーチンの、IL（イリュージョン）- 20 航空機とその乗組員撃墜に対する反応は、外交的路線の一切を踏み越えて、S - 300 をシリアに手渡し、事実上の飛行禁止ゾーンを、西シリアと東地中海に設けることだった。

ここ数週間、どんな攻撃も、激しい言葉さえ、イスラエルやアメリカから、来ていないことに注目せよ。英・仏・イスラエルの、トランプをシリア侵略へと導く作戦の失敗は、今や完全である。

そしてニッキ・ヘイリーは、代価を支払ったと私は確信する。

これらのすべては、プーチンの言葉から出てくる大きなテーマに光を当てる。

決意から出てくる力——。決意は文化（魂）を守ろうとすることから生ずる。

プーチンは、ロシアの超音速兵器の能力を自慢し、スタンドプレーをやっているのではない。彼は、それらが配備されていることをあらゆる人に話した。彼がそうしたのは、アメリカのネオコンおしゃべり連中を黙らせるため、この者たちは、彼の見抜いている通り、トランプ大統領の耳に、自分たちはロシアとの核戦争に勝つことができるのだと囁いている。

彼らは異常者であるから、そのような者として扱わなければならない。

文化第一

プーチンは、自分自身をロシア人民の保護者と考え、ロシアという国を、ロシア文化の反映として見るのは、全く正しいことである。もしあなたが一国を持っていて、誰かがその首長になるとしたら、これこそまさに、その人物に要求すべき態度である。

あるロシア正教の僧侶との対話において、プーチンは、「国家は文化を指図することはできない」、しかし、せめて法を適用することによって、それを手助けすることはできるという考えに、心から同意した。

ある非常に熱心なロシア人酪農家で、自分のチーズをたいそう誇りに思っている人物とのやり取りで、プーチンは、あなたは、ヨーロッパとの競争から免除され、自分は保護される制裁を、今、気に入っているかもしれないが、それに慣れてはならない、と言った。制裁がいつか解除されたとき、あなたは自分の才覚で自立しなければならず、国際市場で生きていかねばならない、と言った。

プーチンは、補助金は怠け者をつくり出すことを理解している。それは彼が、大声で明らかにしたメッセージだった。

これが、2014年にクリミア併合をめぐって、制裁が最初に発効したとき、またルーブル危機のときに、プーチンが、国家補助金を原油セクターから引き上げ、そのカネを農業に回した理由である。

その成功した政策転換の成功を、彼はヴァルダイで、正面から話した。ロシアの食糧生産は、すべてのセクターを通じて、安いルーブルのおかげで好調が続けている。アメリカはこれを、制裁を通じて叩き続けているが、ロシアは投資の道から抜け出しつつある。

その当時、彼は、ロスネフチ（ロシアの石油会社）重役イゴール・セチンの怒りを買って、プーチンは彼を無視して、あらゆる人を驚かせた。そのメッセージは明らかだった：——我々はあなた方を、現在の苦境から助け出すつもりだ、しかしビジネスは、違ったやり方をする時が来ている。ロスネフチが怒ったのは、2014年後期と2015年初期に、最も大きな救済金を必要としており、数百ドルのデノミされた負債を抱え、制裁のおかげで繰り越しできないでいたからである。

帝国の限界

究極的に、プーチンは、狂気を発するアメリカの政策から見れば、混乱ではなくても、絶望しているように見えた。しかし彼にとって、ロシアの未来を脱線させようとする工作に、ロシアが引っかかることは、あり得なかった。

彼は、この帝国が道を踏み違えるのは、自分には弱みがないと信じているからだと言った。私の父は昔、ある運動選手についてよく言っていた——「彼は自分の新聞記事の切り抜きを読みすぎるんだよ。」

唯我独尊は有名人の弱点であって、それは我々がよく目にする、大げさな反応をつくり出す。権力がアメリカから脱落しつつあり、トランプは、その過程を助長すると同時に、残った物の芯を何とか保存しようとしている。

そして、プーチンの談話の間の応答で、彼のアメリカ帝国の見方を最もよく表していたのは、日本との平和条約の調印について訊ねた、日本代表とのやり取りであった。

プーチンの答えは明瞭だった。これが実現しないようにしているのは、日本のプライドと政治的なもつれだ。平和条約を結ぶことは、クリル諸島（北方領土）の帰属を決めるのに、必要ではない（とあなた方は言う）。ロシアと日本は双方とも、真ん中にこの邪魔者があるために、損をしている（とあなた方は言う）。

この問題は、平和条約を結んだ後で、おのずから解決するのです。現行の状態は馬鹿げている、時代錯誤で、ロシアと日本の間の分断が癒えるのを妨げている。まず合意によって信頼をつくり出そう、それから前進しよう。

これがロシアとエジプトの間で起こっていることであり、プーチンが外交戦争に勝っている理由である。

そして、それが、トランプが外交戦争に負けている理由である。プーチンはトランプの立場をよく知っている。彼は自分自身、17年前にそこにいた。トランプが今直面している問題は、プーチンが直面していた問題と同じである——腐敗、墮落しやすさ、謀反、そのすべてが、社会的・文化的諸制度の崩壊に貢献しようとしている。

プーチンは、アメリカが岐路に立っていることを知っていて、何であれ次にやってくるものと、彼流の平和を結んでいる。問題は、我々はどうなのかである。

<https://tomluongo.me/2018/10/19/putin-lays-down-law-valdai/>

——以上